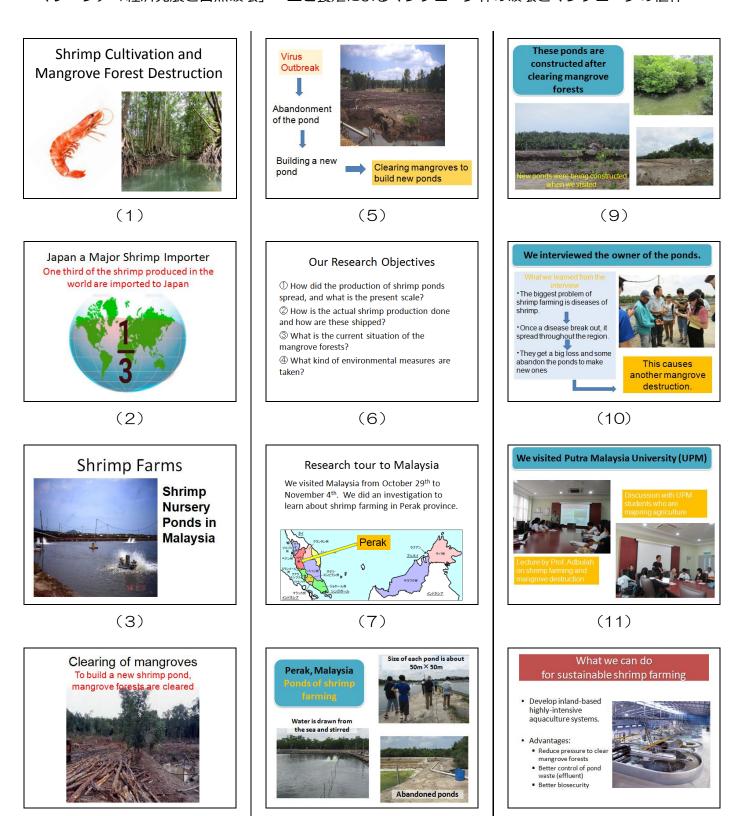
2729. 大阪府立能勢高等学校

(4)

マレーシア「経済発展と自然破壊」〜エビ養殖によるマングローブ林の破壊とマングローブの植林〜



マレーシアの沿岸部ではエビの養殖が進みマングローブの森が破壊されている。住民は生きるためにエビの養殖場開発を進めている。しかし外部者はマングローブの森を保全すべきと住民に環境保護を訴える。「どちらが正しいのか。」マレーシアで養殖されているエビのほとんどは日本をはじめとする先進国への輸出用である。「われわれはこの問題に対してただ手をこまねいているだけでよいのだろうか。」地域課題を考える。

(8)

(12)